

# 代表質問



さんむ 21

小野崎 正喜

議員

## 空港問題について

**問** カーブリーの弾力的運用が開始され2年が経過したが、発生件数はどうか。

**答** 総務部長 平成27年の4月から8月23日までに39件発生しており、平成25年度は58件、平成26年度は56件と、ほぼ横ばいで推移しています。

**問** カーブリーの弾力的運用によるペナルティの状況、累積額はどうか。

**答** 総務部長 平成25年度は334万2千円、平成26年度は246万8千円で、累積額は581万円となっています。

**問** 航空機騒音対策の1つである空調機器



**答** 設置事業の状況はどうか。総務部長 事業の進捗状況は平成27年8月27日現在、計画設置見込み台数646台に対し135台、執行率は20・9%です。昨年度は、計画設置見込み台数1千550台に対し379台、執行率は24・5%という実績でした。

## 職員の業務について

**問** 役所内の業務量と職員の配置・人数について、人事の際のように配慮しているのか。

**答** 総務部長 毎年総務課において、各部及び課と次年度の組織のあり方と人事配置に関するヒアリングを実施しています。

**問** 各部の職員の時間外勤務の平均時間はどうか。

**答** 総務部長 平成26年度の時間外勤務時間のデータから管理職を除き、一番多かった部署が総務部で、対象職員45人、月平均11・2時間。2番目が経済環境部で対象職員28人、月平均8・2時間。次いで保健福祉部が、対象職員128人、月平均6・5時間です。全体で対象職員が365人、月平均6・2時間という状況です。

**問** 職員の時間外勤務を減らす取り組みは



**答** 総務部長 毎週水曜日を一斉退庁日としていきます。また、係長以上の職員に対し時間外勤務の実態を周知しています。

さらに時間外勤務を行う場合には、時間外勤務命令簿を総務課へ提出するように定めており、管理職が把握するようにしています。

加えて当直日誌により、時間外勤務を行った職員の退庁時間を確認し、必要であれば担当課長から事情を聞くなど、職員の健康管理にも注意を払っています。

## こども園事業について

**問** 現在の市内の公立こども園の職員の人数と臨時職員の人数はどうか。

**答** 保健福祉部長 5月1日現在の職員の人数で、正職員が66名、臨時職員の人数が106名です。

**問** こども園の職員の時間外勤務の状況はどうか。

**答** 保健福祉部長 平成26年度の時間外勤務実績は管理職を除き、対象職員57名、年間5千347時間。一人当たり年平均93・8時間。月平均7・8時間となっています。

**問** 時間外勤務の改善策として管理職の方々に、業務に合わせて部課内での人事異動の弾力的運用の推進と、業務量だけでなくコスト面も考え、業務委託やアウトソーシング等の取り組みを、資産管理経営室から

管理経営室にして、業務も含めたマネジメントを考えてみたらどうか。

**答** 市長 職員の働く環境について、さまざまな配慮を頂いたご提案について少し検討させて頂きたいと思えます。

